

参考資料 1

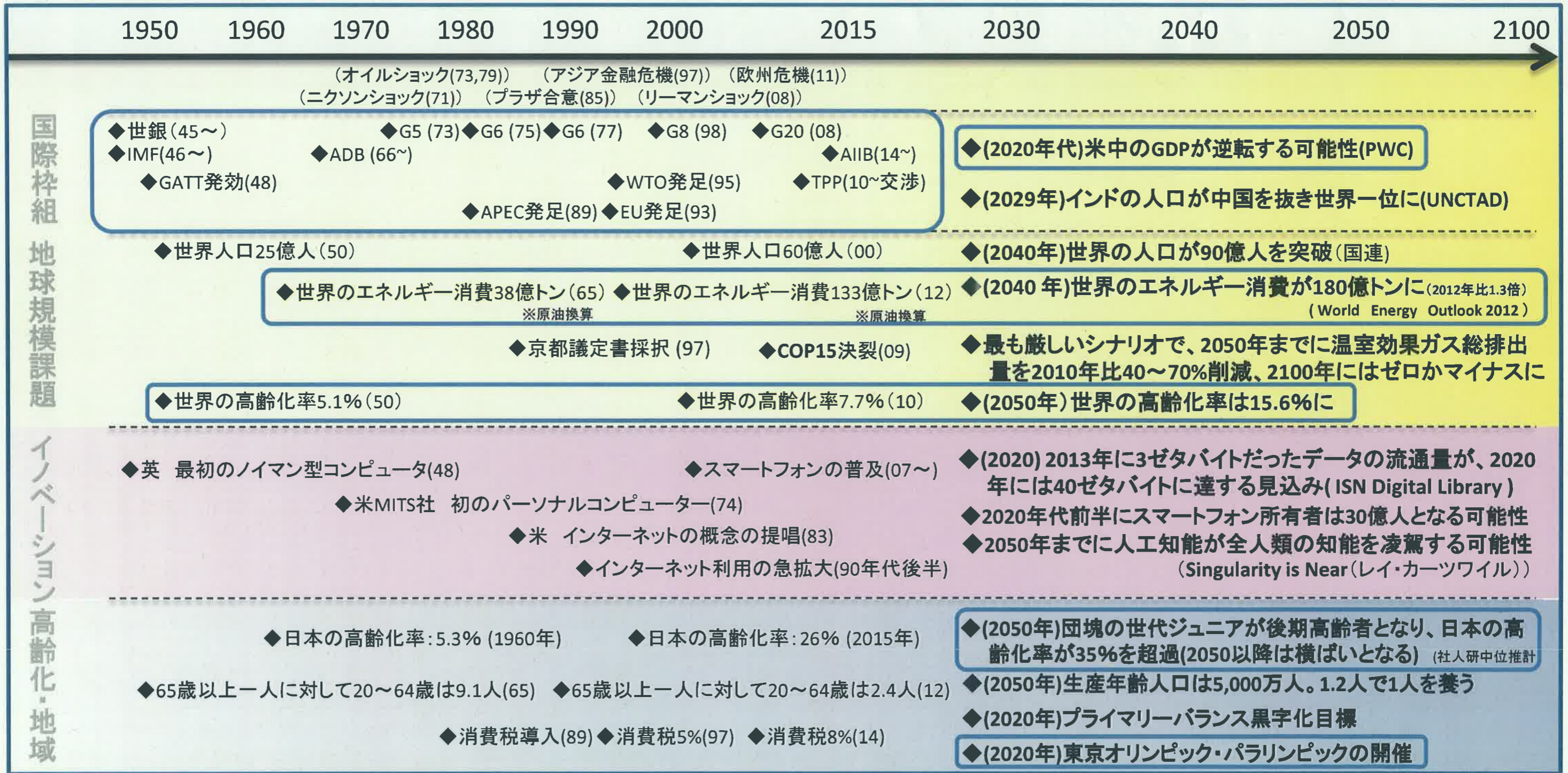
これまで（20年、30年前）の富山

- ・ 世界と日本の 1950 年から現在の主なトピックス
- ・ 富山県の 30 年前から現在の主なトピックス
- ・ 30 年の日本と富山の変化率
- ・ 富山県の文化 《30 年前と現在の変化》

中長期的な視座に立った政策が必要

序章: 中長期的なトレンドを見据える必要性

- 中長期を見据えると、国際的な枠組、地球規模課題の顕在化、技術革新など大きな構造変化が見込まれる。
- 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに集中的な取組を進め、高齢化がピークとなる2050年までに、新しい日本を構築する。



富山県の30年間の出来事、県政の動き

1985(S60)

1990(H2)

1995(H7)

2000(H12)

2005(H17)

2010(H22)

2015(H27)

人づくり・教育・文化

- 国立高岡短大開学(S61)
- 県立大学開学(H2)
- 富山国際大学開学(H2)
- 高岡法科大学開学(H元)
- 総合体育センターオープン(S59)
- 県立高校総合学科設置(H7~)
- 新富山大学開学(H17)
- 35人学級・小2拡大(H17~)
- 中1・35人学級選択制(H21~)
- とやま科学オリンピック(H23~)
- 大学コンソーシアム富山(H25~)
- 県立大学定員拡充(産業界のニーズを踏まえH29.4まで+100名)
- 県立大学に看護学部設置(最短でH31.4開学定員120名)
- 社会に学ぶ「14歳の挑戦」(H11~)
- 水墨美術館開館(H11)
- 五箇山の合掌造り集落世界文化遺産登録(H7)
- 富山県民文化条例制定(H8)
- 県民芸術文化祭(H9~)
- 瑞龍寺国宝指定(H9)
- 立山カルデラ砂防博物館開館(H10)
- 立山博物館開館(H3)
- 新川文化ホール開館(H6)
- 高岡文化ホール開館(S61)
- 世界ポスタートリエンナーレトヤマ開催(S60~)
- 白岩砂防えん堤重要文化財指定(H21)
- 高志の国文学館開館(H24)
- ふるさとの歌完成(H24)、県民ふるさとの日制定(H25)
- 郷土史・日本史学習教材活用(H25)
- 富山県伝統工芸品指定(H25)
- NYでの伝統工芸品PR(H26,27)
- 第1回利賀アジア芸術祭(H26)
- 新近代美術館(仮称)開館予定(H29)
- 新世紀文化振興計画策定(H18)
- 新たな公募美術展「美の祭典越中アートフェスタ」開催(H18~)
- 「舞台芸術特区TOGA」認定(H18)
- とやま世界こども舞台芸術祭開催(H20~)
- とやま起業未来塾(H17~)
- とやま観光未来創造塾(H23~)
- とやま農業未来カレッジ
- とやまシニア専門人材バンク設置(H24) 開校(H27~)

経済・インフラ等

- とやま医療バイオクラスター(H15~19)
- ほくろく健康創造クラスター(H20~24)
- 北陸ライフサイエンスクラスター(H25~29)
- とやまナノテククラスター(H26~30)
- 工業技術センター開設(S61)
- 総合デザインセンター開設(H11)
- ものづくり研究開発センター開設(H23)
- デジタルものづくりラボ(H27)
- 高機能素材ラボ(H27)
- 製薬開発・創薬研究支援ラボ(H27)
- 緊急雇用創出基金事業(H21~27)
- 富山県ものづくり産業未来戦略策定(H26)
- 県立中央病院新診療棟開設(H7)
- 県立中央病院新病棟完成(H4)
- 国際健康プラザ開館(H11)
- 総合福祉会館開館(H11)
- 県立中央病院東病棟開設(H23)
- 県立中央病院先端医療棟(H28)
- リハビリテーション病院・こども支援センター(H28)
- 富山県森づくり条例制定(H18)
- 1億円産地づくり支援事業(H22~)
- 生産性の高い農業の展開→
- とやまPET画像診断センター開設(H19)
- 市街地再開発への支援→
- 市街地再開発への支援→
- イタイタイ病資料館開館(H24)
- 広域消防防災センター開所(H24)
- 北陸自動車道全線開通(S63)
- 東海北陸自動車道(福光~五箇山間)開通(H12)
- 能越自動車道七尾水見道路全線開通(H27)
- 能越自動車道(福岡~小矢部砺波間)開通(H8)
- 能越自動車道(高岡~福岡間)開通(H12)
- 東海北陸自動車道全線開通(H20)
- 新富山大橋供用(H24)
- 富山空港開港(S59)
- ソウル便就航(H5)
- 大連便就航(H10)
- 上海便就航(H17)
- 北京便就航(大連経由H23)
- 台北便就航(H24)
- 北陸新幹線開業(H27)
- あいの風とやま鉄道開業(H27)
- 伏木富山港特定重要港湾指定(S61)
- 帆船海王丸公開(H2)
- 伏木富山港日本海側の「総合的拠点港」選定(H23)
- 新湊大橋供用、外国クルーズ客船初寄港(H24)

主な出来事

- 59豪雪(S59)
- バブル経済崩壊(H3)
- 富山県人口のピーク(H10)
- リーマンショック(H20)
- 地方創生(地方拠点強化税制等)(H26~)
- 富山県65歳以上人口が15歳未満人口を上回る(H5)
- 2000年とやま国体開催(H12)
- きらりんぴっく富山開催(H12)
- 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟(H26)
- 全国海づくり大会(H27)
- 全国高等学校総合体育大会開催(H6)
- ジャパンエキスポ富山開催(H4)
- ロシア・沿海地方と友好提携(H4)
- アメリカ・オレゴン州と友好提携(H3)
- 立山バス排出ガス規制条例(H26)
- G7環境大臣会合(H28)
- ブラジル・サンパウロ州と友好提携(S60)
- 国民文化祭とやま開催(H8)
- 全国都市緑化とやまフェア開催(H8)
- 中国遼寧省と友好提携(S59)
- 全国都市緑化とやまフェア開催(H8)
- 新富山大学開学(H17)
- 海フェスタとやま開催(H18)
- 富岩水上ライン運航(H21~)
- レジ袋無料配布廃止(H20~)
- NOWPAP本部事務局富山事務所開所(H16)
- 立山弥陀ヶ原・大日平ラムサール条約湿地登録(H24)
- 新砺波市、南砺市(H16)
- スポレクとやま2010開催(H22)
- 富山マラソン(H27)
- 新富山市、高岡市、射水市(H17)
- 全国高等学校総合文化祭とやま(H24)
- 新黒部市(H18)
- 全国「みどりの愛護」のつどい開催(H23)
- 全国植樹祭(H29)
- ねんりんピック(H30)

「30年」の日本、富山の変化率

- 【労働・経済】**
- ・ 第二次産業の従事割合の減少率が全国と比して小さく、また、GDPでも第二次産業の増加率が全国の2倍強であり、ものづくり県の特徴がみてとれる。
 - ・ 2人以上勤労者世帯の可処分所得は金額及び伸びとも、全国を上回っている。
- 【交通・都市】**
- ・ 車保有台数の伸びは全国を大きく上回る一方、公共交通機関の利用は全国を下回っている。また、市街地の広がりを示す人口集中地区の面積が増加しているが、人口密度は減少するなど、県内の市街地は薄く広がっている。
- 【文化】**文化関係のハード整備は全国よりも進み、県民の文化鑑賞の行動者数も全国を上回っており、自ら行う文化活動の行動者数は全国と同様に増加している。
- 【国際】**本県の外国人登録者数は30年前と比べると約6倍、外国人留学生は30年前と比べると20倍以上となっており、その伸びはいずれも全国を大きく上回っている。

項 目		富 山 県			全 国			数値の対象年度	
		30年前	現在	変化率	30年前	現在	変化率		
人口	人口(千人)	1,118	1,070	0.96 倍	121,048	127,083	1.05 倍	1985年/2014年	
	合計特殊出生率	1.79	1.45	0.81 倍	1.76	1.42	0.81 倍		
労働	産業別人口 割合(%)	第一次産業	9.1	3.5	0.38 倍	9.3	4.0	0.43 倍	1985年/2010年
		第二次産業	39.7	33.4	0.84 倍	33.1	23.7	0.72 倍	
		第三次産業	51.1	61.2	1.20 倍	57.3	72.3	1.26 倍	
経済	GDP(兆円)	2.62	4.31	1.65 倍	274.1	475.3	1.73 倍	1982年/2012年	
	うち 第一次産業	0.10	0.05	0.54 倍	9.2	5.7	0.62 倍		
	うち 第二次産業	1.09	1.39	1.28 倍	101.4	115.0	1.13 倍		
	うち 第三次産業	1.51	2.85	1.88 倍	173.9	352.0	2.02 倍		
	2人以上勤労者世帯の可処分所得(千円/月)	353	448	1.27 倍	317	393	1.24 倍	1984年/2009年	
交通・都市	マイカー世帯保有数(台)	0.97	1.7	1.76 倍	0.71	1.07	1.51 倍	1985年/2013年	
	道路整備率(%)	57.7	74.8	1.30 倍	36.2	58.3	1.61 倍		
	鉄道利用者数(百万人)	39.5	25.9	0.66 倍	19,085	23,606	1.24 倍	1993年/2013年	
	バス利用者数(万人)	23.2	9.4	0.41 倍	6,998	4,176	0.60 倍		
	人口集中地区の面積(km ²)	88.7	104.9	1.18 倍				1985年/2010年	
	人口集中地区の人口密度(人/km ²)	4,781	3,864	0.81 倍					
文化	文化に関する人口当たり の行動者数(%)	文化鑑賞	37.9	37.9	1.00 倍	40.4	36.8	0.91 倍	1986年/2011年
		文化活動	51.8	56.1	1.08 倍	51.8	57.6	1.11 倍	
	美術館・博物館数(100万人当たり施設数)	15.2	32.2	2.12 倍	6.0	9.9	1.65 倍	1987年/2011年	
国際	海外(アジア)への進出状況※1	141	541	3.84 倍	6,345	15,874	2.50 倍	2001年/2015年	
	外国人登録者数(千人)	2.3	13.3	5.81 倍	867	2,122	2.45 倍	1986年/2014年	
	外国人留学生(人)	22	490	22.27 倍	15,009	139,185	9.27 倍	1985年/2014年	

※1 富山県の数値は進出事業所数、全国は現地法人数

富山県の文化 < 30年前と現在との変化 >

文化施設の状況

●登録美術館・博物館

人口100万人当たりの数 本県
" 全国

●文化ホール

人口100万人当たりの数 本県
" 全国

※出典：文部科学省「社会教育調査」等

◆30年前の主な施設

- ・県立近代美術館
- ・富山市立郷土博物館
- ・百河豚美術館
- ・魚津市立特別天然記念物埋没林博物館
- ・富山市科学文化センター
- ・富山県民会館
- ・富山市公会堂
- ・黒部市民会館
- ・氷見市民会館
- ・高岡市立美術館
- ・氷見市立博物館
- ・魚津水族館
- ・富山県教育文化会館
- ・高岡市民会館
- ・砺波市文化会館
- ・新湊市中央文化会館

30年前

15館〔S59〕

13.4館〔S59〕

5.6館〔S59〕

14館〔S59〕

12.5館〔S59〕

20年前

29館〔H8〕

25.8館〔H8〕

7.8館〔H8〕

26館〔H8〕

23.1館〔H8〕

12.3館〔H8〕

10年前

35館〔H17〕

31.5館〔H17〕

9.4館〔H17〕

29館〔H17〕

26.1館〔H17〕

14.8館〔H17〕

現在

30年間で
2.3倍

35館〔H23〕

全国3位

32.2館〔H23〕

9.9館〔H23〕

30年間で
2.2倍

31館〔H23〕

全国1位

28.5館〔H23〕

14.6館〔H23〕

●主な施設の開館状況

- ◆黒部市吉田科学館(S61)
- ◆井波美術館(S62)
- ◆庄川美術館(H1)
- ◆高岡市万葉歴史館(H2)
- ◆立山博物館(H3)
- ◆朝日町立ふるさと美術館(H3)
- ◆高岡文化ホール(S61)
- ◆県民小劇場(S62)
- ◆富山市民プラザ(H1)
- ◆福野文化創造センター(H3)
- ◆西田美術館(H5)
- ◆黒部市美術館(H6)
- ◆福光美術館(H6)
- ◆高岡市美術館(移転新築、H6)
- ◆小杉文化ホール(H5)
- ◆新川文化ホール(H6)
- ◆富山県利賀芸術公園(県立化、H6)
- ◆富山市芸術文化ホール(H8)
- ◆砺波市美術館(H9)
- ◆大島絵本館(H9)
- ◆立山カルデラ砂防博物館(H10)
- ◆新湊博物館(H10)
- ◆水墨美術館(H11)
- ◆ミュゼふくおかカメラ館(H12)
- ◆富山国際会議場(H11)
- ◆新川学びの森天神山交流館(H14)
- ◆高岡市生涯学習センター(H16)
- ◆城端伝統芸能会館(H17)
- ◆砺波市出町子供歌舞伎曳山会館(H21)
- ◆樂翠亭美術館(H23)
- ◆ギャルリ・ミレー(H24)
- ◆高志の国文学館(H24)
- ◆小矢部市大谷博物館(H26)
- ◆富山市ガラス美術館(H27)
- ◆アートハウスおやべ(H27)
- ◆フォルツァ総曲輪(H19)
- ◆富山県民会館リニューアル(H27.3)

文化活動の状況

◆文化の鑑賞：美術鑑賞、演芸・演劇・舞踊鑑賞、クラシック音楽鑑賞
◆文化活動への参加：絵画・彫刻、書道、陶芸・工芸、写真、舞踊、楽器演奏、邦楽、声楽、華道、茶道、文芸等

◆本県の全国順位が高い分野
美術鑑賞4位、陶芸・工芸1位
邦楽2位、書道3位、茶道4位

●人口当たり行動者数(各分野の割合の合計) ※出典：総務省「社会生活基本調査」

◆文化の鑑賞

(全国の行動者数)

37.9%〔S61〕

40.4%〔S61〕

45.1%〔H8〕

45.0%〔H8〕

40.1%〔H18〕

42.0%〔H18〕

37.9%〔H23〕

36.8%〔H23〕

◆文化活動への参加

(全国の行動者数)

茶道1位
民謡2位

51.8%〔S61〕

51.8%〔S61〕

62.0%〔H8〕

63.3%〔H8〕

55.4%〔H18〕

64.3%〔H18〕

56.1%〔H23〕

57.6%〔H23〕

●主な出来事

- ◆世界ポスタートリエンナーレトヤマ(S60~)
- ◆万葉集全20巻朗唱の会(H2~)
- ◆スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド(H3~)
- ◆井波国際木彫刻キャンプ(H3~)
- ◆富山国際アマチュア演劇祭(S58) ※以後6回の国際的な演劇祭を開催
- ◆第11回国民文化祭とやま'96(H8)
- ◆県民文化条例制定(H8)
- ◆県民芸術文化祭(H9~)
- ◆学びの森音楽祭(H14~)
- ◆(財)舞台芸術財団演劇人会議設立(H12)
- ◆BeSeTo演劇祭 利賀で初めて開催(H13)
- ◆とやま世界こども舞台芸術祭(H20~)
- ◆越中アートフェスタ(H18~)
- ◆夏の世界演劇祭「利賀フェスティバル」6年ぶりに復活(H17)
- ◆舞台芸術特区TOGA認定(H18)
- ◆劇団SCOT再始動(H20)
- ◆とやま国際アートキャンプ(H21~)
- ◆TOGAアジア・アーツ・センター設立(H24)
- ◆第1回利賀アジア芸術祭(H26)

文化関係の県予算の状況(当初予算ベース)

●文化関係予算額 = 文化振興費 + 文化財保護費 + 美術館費 + 芸術文化振興費

●文化関係予算額

816百万円〔S60〕

3,204百万円〔H7〕

2,434百万円〔H17〕

7,856百万円〔H27〕

●一般会計予算に占める割合

0.24%〔S60〕

0.56%〔H7〕

0.45%〔H17〕

1.40%〔H27〕